

B o r d e r l a n d

Ryu Matsuyama

Ryu Matsuyama
B o r d e r l a n d

2020.04.29 ON SALE

VPCC-86309 / ¥2,727+tax

1. Step over 2. Boy 3. Go Through, Grow Through
4. 愛して、愛され feat. 塩塚モエカ (羊文学) 5. Blackout feat. mabanua
6. Sane Pure Eyes (Alternative Mix) 7. No. One
8. Heartbeat 9. Friend

listen here



Ryu Matsuyama... Piano rock trio band based in Tokyo, Japan. Band members are Ryu(Piano,Vocal), Tsuru (bass), Jackson (drums) 

MIRAI NO WA MONO | JAPANESE FUTURE GROOVE

未来  未来 



Ryu Matsuyama

TOWER RECORDS 

Ryu Matsuyama interview

イタリアで生まれ育ったRyu (ピアノ／ヴォーカル)を中心に、Tsuru (ベース)、Jackson (ドラム) からなるピアノ・スリーピース・バンドのRyu Matsuyama。ジャンルの壁も国籍も超えたサウンドと力強いポップ・ソングで人気を集める彼らが、待望のニュー・アルバム『Borderland』をリリース。今回はOvallのmabanuaをプロデューサーに迎え、さらなる音楽的な深化と進化を遂げた。羊文学の塩塚モエカがゲスト・ヴォーカルとして参加した日本語バラード“愛して、愛され”を含むドラマティックな全9曲には、バンドの新たな姿が刻まれている。そんなRyu Matsuyamaに、〈未来ノ和モノ〉というテーマの質問を投げかけた。

—— 未来や世界のリスナーに向けた新作『Borderland』の聴きどころは？

3人で描いてきた風景にmabanuaさんの感性が加わり、今までとは色合いと厚みの違う景色が出来上がりました。当事者でありながらも聞いていて非常にワクワクする作品で、新しい可能性を感じさせつつも、昔の作品にちゃんと寄り添うような一枚になっています。

—— 今後の日本の音楽シーンや世界のシーンの展望について教えてください。

ストリーミングが主流になってきている中で、「音楽の国境」がなくなり、日本の音楽が世界へ羽ばたける大きなチャンスだと思っています。今だからこそ、「J-POP」を、日本人の感性でしか作れない音楽を大切に、世界に広げていきたいと思っています。

—— 日本人の感性や音楽の「いいな」と思う部分は？

日本語は子音と母音の組み合わせの言葉なので制限がありつつも、その組み合わせでからこそ生まれるキャッチーで耳に残る日本っぽいメロディーがあると思いますし、さらには歌い方やリズムの取り方によっては色々な可能性を秘めていると思っているので、研究するのが非常に楽しいです。

—— 今後、Ryu Matsuyamaはどうありたいですか？

Ryu Matsuyamaは、3人がその時に思っている「ポップ感」を作品に反映できるようにしていきたいと思っています。価値観や考え方が違う3人が集まり、それらをブレンドすることによって、僕らにしか出来ない音楽を表現したいです。



Ryu Matsuyama 新作のロング・インタビューは [mikipiki.tokyo.jp](https://mikipiki.tokyo.jp/articles/-/24845) にて! <https://mikipiki.tokyo.jp/articles/-/24845>



Ryu's Choice



KUDANZ
『血の穢(わち)』



Sleepyab
『fractal』



ROTH BART BARON
『けものたちの名前』



Ovall
『DAWN』



DJ KRUSH
『寛暈』

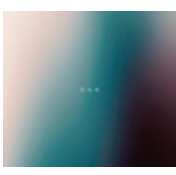
Tsuru's Choice



Schroeder-Headz
『LIVE-Synesthesia-』



日食なつこ
『永久凍土』



D.A.N
『D.A.N.』



rei harakami
『red curb』



daisuke miyatani
『diario』



MIRAI NO WA MONO
JAPANESE FUTURE GROOVE

そのサウンドは、機能性を損なわずに時代を超越する。

そのサウンドは、新たな機能性を見出だされ時代を超越する。

20年後、30年後、世界中の音楽ディガーに発見され、興奮し、語り継がれる日本の音楽。

フロアを揺らす音楽。決して消費される事のない音楽。音楽はタイムマシン。

盤は回り、そのサウンドは未来へと繋がって行く。



Ryu Matsuyama 『Borderland』

mabanuaをプロデューサーに迎え、新たなJ-POPの景色を描くセカンドフルアルバム

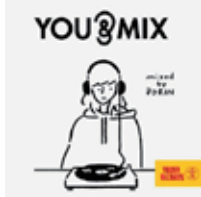
メジャーデビュー作『Between Night and Day』から2年。Ryu Matsuyamaから待望のニューアルバムが届けられた。J-POPの世界で辣腕を振るうmabanua (Ovall) がプロデューサーを務めた本作。塩塚モエカ (羊文学) がゲストボーカリストとして参加した日本語バラード“愛して、愛され”やmabanuaと共作をした“Blackout”など、全9曲を収録している。マスタリングはグラミー受賞エンジニアのジョー・ラポルタ。音にもこだわり抜いた一作。

タワーレコードオリジナル特典:「未来ノ和モノ」ポスター絵柄 応募抽選付ポストカード
※Ryu Matsuyamaメンバーサイン入り「未来ノ和モノ」ポスター (5名様)

4/29発売

Editor's Choice

VA 『YOU & MIX mixed by PORIN』



好評発売中

Awesome City Club・PORIN が担当した「未来ノ和モノ」MIX CD!

タワーレコードの独自企画「未来ノ和モノ-JAPANESE FUTURE GROOVE」がキュレーション型MIX CD『YOU&MIX』を始動! 第1弾のMIXを担当したのは、ファッションアイコンとしても注目されるPORIN (Awesome City Club)。4月29日 (水) に発売される Awesome City Club のニューアルバムから、“ブルージー”を先行収録。

VA 『Lo-Fi Hip Hop, Soul from origami PRODUCTIONS -Pray for Australia-』



好評発売中

origamiのアーティストたちによるLo-Fi Hip Hopコレクション

オーストラリアの森林火災を受けたチャリティ作品として、世界的なムーブメントである『Lo-Fi Hip Hop』にorigami PRODUCTIONSが取り組んだ一枚。mabanuaはもちろん、Ovallのメンバーである関口シゴとShingo Suzuki、Kan Sano、Nenashi、Michael Kanekoら、origamiの看板アーティストたちの楽曲を収録。

THE CHARM PARK 『Reverse & Rebirth』



好評発売中

「原点」と「今」の両方が詰まったリビルド盤

Ryu Matsuyamaとの共演も多いTHE CHARM PARKの最新作は、現在入手困難の自主制作盤『Reverse & Rebirth』から選りすぐりの楽曲をリビルドしたアルバム。新曲も収録されており、彼らの原点と「今」が詰まった作品になっている。初回生産限定盤にはBillboard Live TOKYOでのライブ映像を収めたDVDが付属。

mabanua 『Blurred』



好評発売中

CharaやAchicoが参加、6年ぶりのパーソナルなソロアルバム

『Borderland』のプロデューサーを務めたmabanua。Ovallのメンバーとして、ドラマーとして、プロデューサーとして大活躍する彼が6年ぶりに発表したソロアルバムが、この『Blurred』。ヴォーカルも含め、すべての楽器をmabanua自身が演奏、ミックスまで手掛けたパーソナルでタイムレスな一作。

羊文学 『ざわめき』



好評発売中

進化を続けるバンドの現在と未来を伝える最新EP

『Borderland』にゲスト参加した塩塚モエカがフロントに立つ3ピースオルタナティブロックバンド、羊文学。前作『きらめき』と対を成す全5曲を収録しているのが、最新EP『ざわめき』だ。進化を続けるバンドとヴォーカリスト・塩塚の現在地、そして未来の姿を伝える充実作。

Shohei Takagi Parallela Botanica 『Triptych』



好評発売中

cero・高城晶平が奏でるドリーミーでメランコリックな音世界

ceroのヴォーカリスト、高城晶平によるソロプロジェクトが遂にファーストアルバムをリリース。Sauce81 (DJノブ・トイメカ) との共同制作で生まれた、3部構成のコンセプトアルバム作品だ。初回生産限定盤付属DVDには、ライブやインタビューからなる大関泰幸の映像作品を収録。